

「平成 25 年度事務情報システム機器管理者講習会」実施報告

学術情報部情報政策グループ

1. 平成 25 年度事務情報システム機器管理者講習会について

情報政策グループでは総合情報基盤センター（以下「センター」という。）にご協力いただき、事務情報システム機器管理者（以下「機器管理者」という。）を対象とした「事務情報システム機器管理者講習会」を、平成 25 年 11 月 7 日（木）に実施し、16 名の方に受講していただきました。

この講習会は、機器管理者が実施すべき業務を適切に滞りなく行うために必要な知識と、PC やソフトウェアの適切な管理方法を習得していただくことを目的としたものです。前年度に引き続き、事務用 PC の OS の Windows 7 への移行を進めていることから、Windows 7 及びメールソフト Thunderbird の基本的な操作についても取り上げることとし、講師をお願いしたセンターの山田技術職員、小林技術職員及び金森技術職員並びに情報政策チーム員に、それぞれの担当箇所について、テキストを作成していただきました。

講習会では、ネットワークの基礎や PC のセキュリティ対策、機器管理者の行う業務、PC の管理方法、Windows7 及び Thunderbird の基本操作について説明及び実習を行い、理解を深めていただきました。また、実際に PC の内部構造を確認していただきました。コンピュータウイルス感染についての映像も見ていただき、脅威を実感していただきました。

2. 受講後のアンケート結果より

講習会終了後にアンケートを実施しました。

講習内容について、93%の方が「ちょうど良い」、6%の方が「やや易しい」と回答されており、内容の理解についても「できた」方が13%、「大体できた」方が80%、「どちらともいえない」方が7%となり、多くの方に理解していただけたようです。

講習の進め方・説明の仕方については、20%の

方が「良い」、73%の方が「やや良い」、7%の方が「どちらともいえない」と回答されており、説明や実習の時間を十分にとることができなかったことについてご指摘がありましたが、「講義だけでなく実習・演習を織り交ぜて進めていた点がよかった」などのご意見もいただきました。

また、「ウイルスに関する講義はとても分かり易くてよかった」というご意見もあり、通常の業務では実感しにくいものを理解していただくことができました。



3. 講習会を振り返って

昨年度講習会を受講していない比較的任命されて日の浅い機器管理者を対象とした講習会だったこともあり、本講習会では昨年と同様に機器管理者の基本的な業務説明から Windows7 等の操作実習まで、幅広い内容を取り上げました。長時間の講習にもかかわらず実習時間を十分に確保できず、説明不足などもありましたが、個々の業務だけでなく、全体の流れなども確認していただく機会とすることができたのではないかと思います。機器管理者の方々の業務における負担を少しでも軽減することができたのなら幸いです。

最後になりましたが、お忙しい中時間を割いて講師を引き受けてくださいました山田技術職員、小林技術職員、金森技術職員、またアカウント発行等、講習会の実施にご協力くださいましたセンター職員みなさまに深謝いたします。